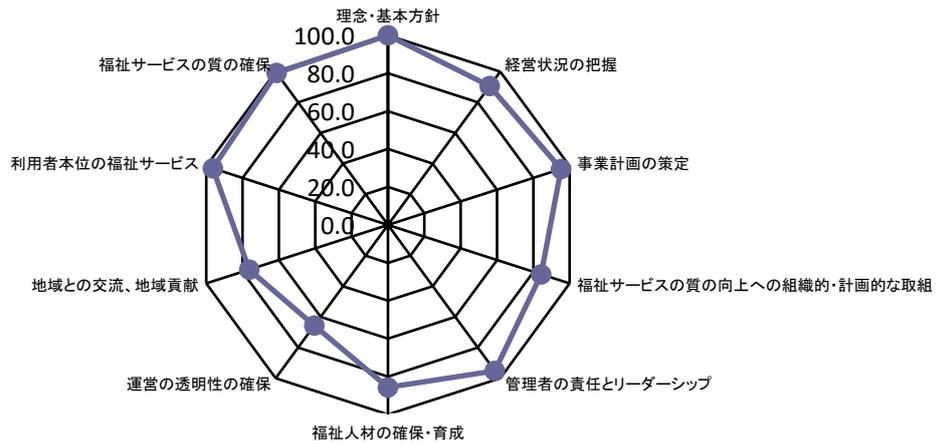


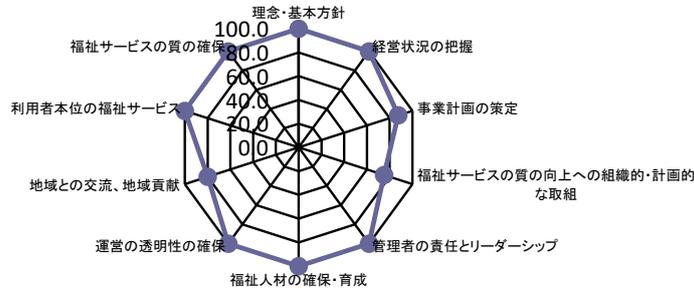
# 令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 〔事業団全体〕



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	80	80	8	0	0
	経営状況の把握	90.6	160	145	13	3	0
	事業計画の策定	95.3	320	305	29	3	0
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	84.4	160	135	11	5	0
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	95.3	320	305	29	3	0
	福祉人材の確保・育成	85.7	560	480	40	16	0
	運営の透明性の確保	65.6	160	105	5	11	0
	地域との交流、地域貢献	76.3	400	305	22	17	1
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	96.4	960	925	89	7	0
	福祉サービスの質の確保	99.0	480	475	47	1	0

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 【障害児入所施設 八甲学園】



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	87.5	40	35	3	1	
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	75.0	20	15	1	1	
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	100.0	70	70	7		
	運営の透明性の確保	100.0	20	20	2		
	地域との交流、地域貢献	80.0	50	40	3	2	
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	100.0	120	120	12		
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

◆評価の高い点

【共通評価基準】

- I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。
- I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。
- I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。
- II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。
- II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。
- II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。
- II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。
- II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。
- II-2-(4)-① 実習生の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。
- III-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。
- III-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。

◆改善を求められる点

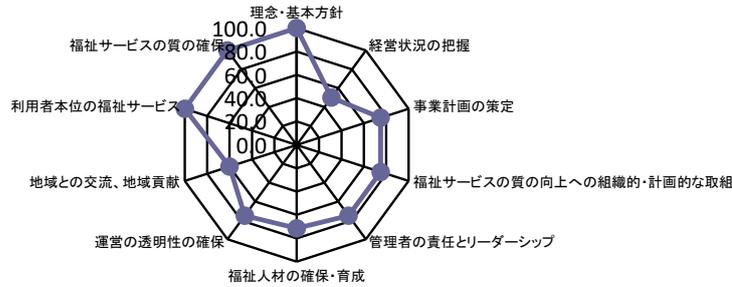
【共通評価基準】

- I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。
- II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
- II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。

◆今後の方針

- ・評価が高かった項目については、継続して高い評価となるよう運営していく。
- ・利用者向けの事業計画や、ボランティアの受入れマニュアルなど、整備が不十分という理由で評価が低かった項目については、法人内の事業所の例も参考にしながら整備していくことを検討する。
- ・事業所として公益的な事業・活動を行うためには、積極的な情報発信も必要だと考えるため、広報誌の設置場所や発送先を広げたり、事業所の取り組みを紹介できる機会などを活用しながら、地域住民や地域の福祉ニーズの収集も検討する。

# 令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 【養護老人ホーム 安生園】



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
I 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	50.0	20	10		2	
	事業計画の策定	75.0	40	30	2		2
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	75.0	20	15	1		1
II 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	75.0	40	30	2		2
	福祉人材の確保・育成	71.4	70	50	3		4
	運営の透明性の確保	75.0	20	15	1		1
	地域との交流、地域貢献	60.0	50	30	1		4
III 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	100.0	120	120	12		
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

## ◆評価の高い点

### 【共通評価基準】

- 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。
- 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。
- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。
- 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。
- 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。
- 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。
- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。

### 【内容評価基準】

- A⑨ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。
- A⑪ 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。
- A⑫ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。

## ◆改善を求められる点

### 【共通評価基準】

- 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。
- 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。
- 総合的な人事管理が行われている。
- 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。
- 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。

### 【内容評価基準】

- A⑥ 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。

## ◆今後の方針

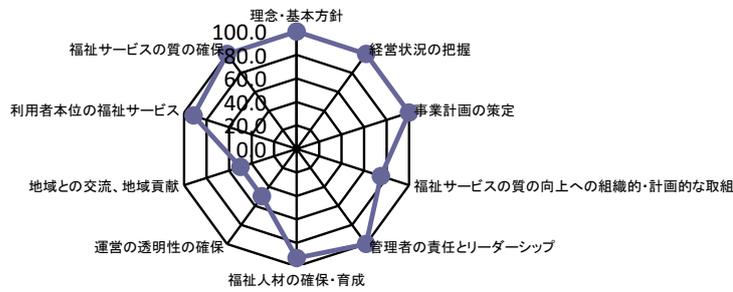
### 【共通評価】

- 経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、情報共有と共通意識を形成するための取組を行う。
- 養護老人ホームの生活支援に関わる専門性(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人管理体制について具体的な計画を作成する。
- 養護老人ホームの職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組をすすめる。
- 福祉人材の確保、定着のため、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりを目指して、勤務体制等の見直しを検討する。
- 地域交流と福祉ニーズの把握方法を工夫し、既存の事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を検討する。

### 【内容評価】

- ⑥ 施設環境の環境は清潔で、適温と明るい雰囲気は保たれ、要介護利用者にとって快適で、くつろいで過ごせるように居室のリフォームと老朽化した設備の修繕・更新をすすめる。

令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 【障害者支援施設 しらかば寮】



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	75.0	20	15	1	1	
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	92.9	70	65	6		1
	運営の透明性の確保	50.0	20	10			2
	地域との交流、地域貢献	50.0	50	25	1		3 1
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	91.7	120	110	10		2
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

◆評価の高い点

【共通評価基準】

Ⅲ-1- (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。

- ・SDSチェックシートを毎月実施し、支援会議で報告、評価、指示を行っている。
- ・身体拘束、虐待防止の指針を定めた。また、利用者の権利擁護に関する研修を実施している。

Ⅲ-1- (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

- ・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを職員に配布している。また、各ホーム支援室に掲示している。併せて、インフルエンザ、ノロウイルス対応マニュアルも作成している。
- ・利用者は寮内での定時の検温の実施、食事前の手指消毒をしている。

【内容評価基準】

A-2- (1) 支援の基本

A② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。

- ・利用者に応じてスケジュール、余暇ボード、コミック会話等を活用している。
- ・強度行動障害を理解するための研修など参加する機会を設けている。

◆改善を求められる点

【共通評価基準】

Ⅱ-4- (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

① 地域の福祉ニーズを把握するための取組が行われている。

② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。

- ・関係機関、団体との連携は行っているが、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動(地域コミュニティの活性化、まちづくり、福祉サービスの提供に関するノウハウ、研修参加等)は、コロナウイルスの影響で出来なかった。

【内容評価基準】

A-2- (4)

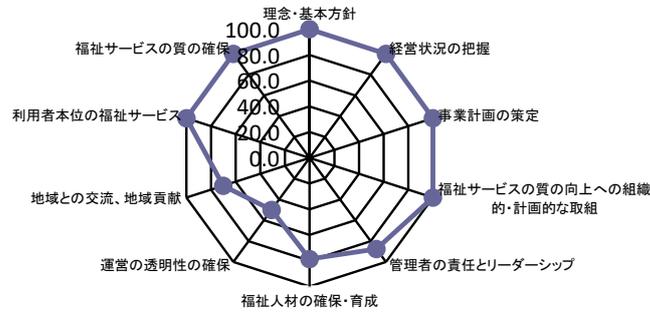
① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。

- ・調理体験、買い物体験(訪問販売)は定期的に行っているが、専門職の助言・指導は行えなかった。また、機能訓練・生活訓練の計画がない利用者もいる。

◆今後の方針

- ・コロナウイルスの影響で、地域住民と直接関わることが難しいため、しらかば寮単体での地域清掃等を行えるよう検討していく。コロナウイルスに左右されるが、福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を還元する機会は、地域住民を招いての研修会で実施できるよう検討していく。

令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 [障害者支援施設 さつき寮]



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	100.0	20	20	2		
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	87.5	40	35	3	1	
	福祉人材の確保・育成	78.6	70	55	4	3	
	運営の透明性の確保	50.0	20	10			2
	地域との交流、地域貢献	70.0	50	35	2	3	
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	100.0	120	120	12		
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×aの数+bの数+cの数  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

◆評価の高い点

- ・内容評価基準については、全てにおいてa評価が良かったことから、普段から職員が努めて利用者の意思を尊重し、心身の状況に応じたコミュニケーションや支援を行っていることが確認された。
- ・実習対応マニュアルや意見対応マニュアルなどを作成し、昨年挙げられた改善策については実施したこと。

◆改善を求められる点

【共通評価基準】

①Ⅱ-1

現状、組織内の広報誌において、管理者自らの役割と責任について掲載し表明していない。

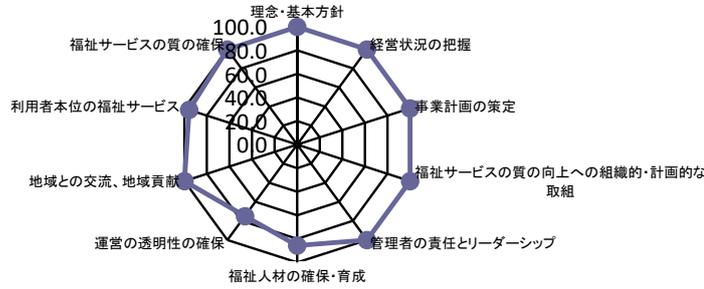
②Ⅱ-4

地域との交流、地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業運営や関係機関との連携についての評価について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行えず、チェックがつかなかった項目が見られた。

◆今後の方針

- ・上記①については、広報なつどまりの他に発行しているさつき寮通信の来年度の初号で、掲載及び表明をする予定である。
- ・上記②については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために未実施としていた地域交流等について、事業計画に含め、情勢を鑑みながら徐々に対策を緩和し、元の評価水準程度まで戻していく予定である。

# 令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書〔就労サポートセンターさつき〕



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	100.0	20	20	2		
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	85.7	70	60	5	2	
	運営の透明性の確保	75.0	20	15	1		1
	地域との交流、地域貢献	100.0	50	50	5		
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	95.8	120	115	11		1
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)、(②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

## ◆評価の高い点

- ・理念、基本方針が確立、周知されている。
- ・経営環境の変化等に適切に対応している。
- ・中長期的なビジョンと計画が明確にされている。
- ・事業計画が適切に策定されている。
- ・質の向上に向けた取組が組織的、計画的に行われている。
- ・管理者の責任が明確にされている。
- ・管理者のリーダーシップが発揮されている。
- ・職員の就業状況に配慮がなされている。
- ・職員の質の向上に向けた体制が確立されている。
- ・地域との関係が適切に確保されている。
- ・関係機関との連携が確保されている。
- ・地域の福祉向上のための取組を行っている。
- ・利用者を尊重する姿勢が明示されている。
- ・福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。
- ・利用者満足の向上に努めている。
- ・利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。
- ・提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。
- ・適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。
- ・福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

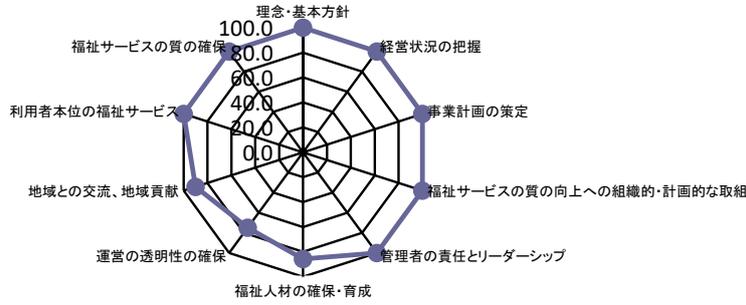
## ◆改善を求められる点

事業所の自助努力で改善できる点は、改善してきた。

## ◆今後の方針

今後公表される令和4年度の第三者評価結果を受け、改善を求められる点について、事業所内の「質の向上推進会議」において改善策を検討、実施する。評価項目の中には、事業所単独では改善困難なものもあるが、これまで事業所が作成してきた「質の評価チェックリスト」の精度向上を継続する。

# 令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 【就労サポートセンターはくちょう】



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	100.0	20	20	2		
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	85.7	70	60	5		2
	運営の透明性の確保	75.0	20	15	1		1
	地域との交流、地域貢献	90.0	50	45	4		1
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	100.0	120	120	12		
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)、(②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

## ◆評価の高い点

### 【共通評価基準】

- I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。
- I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。
- Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。
- Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

### 【内容評価基準】

- A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。
- A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。

## ◆改善を求められる点

### 【共通評価基準】

- Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組みが支援されている。
- Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。
- Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。
- Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。

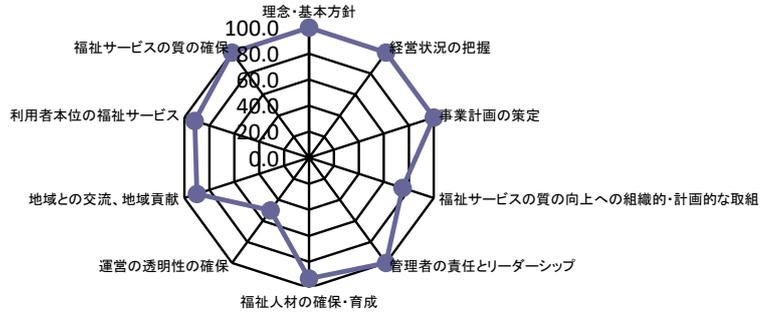
### 【内容評価基準】

- A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供される。
- A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。

## ◆今後の方針

- ・評価の高い項目については、質の維持及び向上に努めることとし、提供するサービスの一層の充実を図るとともに、改善が必要な項目については、計画的に取り組むことが出来るよう、会議等でサービスの質の評価に対する項目を入れ、検討し改善に向け取り組んでいく。
- ・評価結果による課題、問題点等は職員間で共有し、新型コロナウイルスの状況等変化に応じて、検討、見直しをしながら取り組む。

令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 【ライフサポートあおば】



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	100.0	20	20	2		
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	75.0	20	15	1	1	
Ⅱ 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	92.9	70	65	6		1
	運営の透明性の確保	50.0	20	10			2
	地域との交流、地域貢献	90.0	50	45	4		1
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	91.7	120	110	10		2
	福祉サービスの質の確保	100.0	60	60	6		

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)  
 (②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

◆評価の高い点

- I-1 理念・基本方針
- I-2 経営状況の把握
- I-3 事業計画の策定
- II-1 管理者の責任とリーダーシップ
- III-2 福祉サービスの質の確保

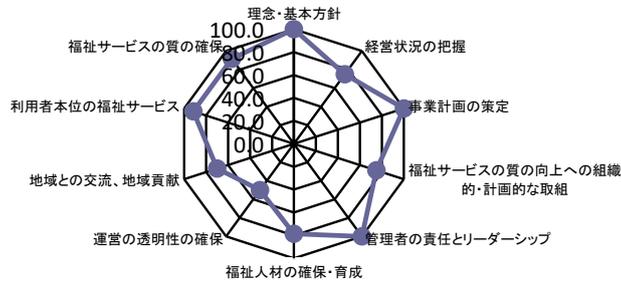
◆改善を求められる点

- I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。
  - I-4-(1) ① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。
- II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。
  - II-2-(1) ② 総合的な人事管理が行われている。
- II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。
  - II-3-(1) ① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。
  - II-3-(1) ② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。
- II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。
  - II-4-(3) ② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。
- III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。
  - III-1-(4) ③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。
- III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。
  - III-1-(5) ③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。

◆今後の方針

- ・多様な機関との連携、地域防災体制の構築など、地域に根差した働きかけを強化する。
- ・保護者や近隣住民からの意見を募る機会や設備を整える。
- ・総合的な人事評価については、法人の人事評価制度について周知を図るとともに、必要に応じて法人事務局へ提案する。
- ・第三者評価の受審、外部の専門家による監査については、今後の検討事項とし、まずはこれ以外の項目について整えることを優先とする。

# 令和4年度福祉サービスの質の評価実績報告書 [すこやか苑]



大項目	中項目	評価点 (100点満点)	満点 (①)	点数合計 (②)	評価内容		
					aの数 (10点)	bの数 (5点)	cの数 (0点)
I 福祉サービスの基本方針と組織	理念・基本方針	100.0	10	10	1		
	経営状況の把握	75.0	20	15	1	1	
	事業計画の策定	100.0	40	40	4		
	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	75.0	20	15	1	1	
II 組織の運営管理	管理者の責任とリーダーシップ	100.0	40	40	4		
	福祉人材の確保・育成	78.6	70	55	4	3	
	運営の透明性の確保	50.0	20	10			2
	地域との交流、地域貢献	70.0	50	35	2	3	
III 適切な福祉サービスの実施	利用者本位の福祉サービス	91.7	120	110	10	2	
	福祉サービスの質の確保	91.7	60	55	5	1	

評価点=(②)/(①)×100  
 (①)=10点×(aの数+bの数+cの数)、(②)=aの数×10点+bの数×5点+cの数×0点

## ◆特に評価の高い点

### 【共通評価基準】

- 29 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。
- 37 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。
- 42 アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。
- 43 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。

### 【内容評価基準】

- ①利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。
- ⑥福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。
- ⑬褥瘡の発生予防・ケアを行っている。
- ⑯利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。

## ◆改善を求められる点

### 【共通評価基準】

- 3 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。
- 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。
- 23 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。
- 44 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

### 【内容評価基準】

- ⑭介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。

## ◆今後の方針

- ・経営課題については、空床期間を減らすことや取得できる加算を導入していくなど、収入増に繋げる取組が必須であるが、そのためには人材確保・定着を進めて行く必要があり、更なる積極的な採用活動を実施し、人材確保に努めるとともに、定着できる体制を検討していく。
- ・地域との交流・地域貢献については、コロナ禍ということもあり制限がある中でも可能な限り地域に出かけたり、外部の訪問者と交流する機会を持つよう工夫をしていく。
- ・ほのぼのシステムにて、事業所内で情報は共有しているが、記録内容や書き方について個人差があるため、記録要領を作成し、職員間で統一した記録ができるようにしていく。
- ・喀痰吸引等事業所登録は行い、実施にあたっての必要な計画や体制は整った。今後は定期的な研修を継続しながら、適切に実施できるよう強化していく。
- ・毎月の全体会議で、自己評価の理解度を深めていくと同時に、課題について検討し改善に取り組んでいく。

# 令和4年度 障害者・児福祉サービス版自己評価シート 集計結果表

## 【内容評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「欄」のドロップダウンから選択してください(「・」)。

A-1	A-1-(1)	自己決定の尊重	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
利用者 と権利 擁護	A①	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a	a	a	a	a	a
	A-1-(2)	権利侵害の防止等	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
利用者 と権利 擁護	A②	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a	a	a	a	b	a
	A-2	A-2-(1)	支援の基本	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン
生活 支援	A③	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a	a	a	a	b	a
	A④	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a	a	a	a	a	a
	A⑤	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等適切に行っている。	a	a	a	a	a	a
	A⑥	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a	a	a	a	a	a
	A⑦	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a	a	a	a	a	a
	A-2-(2)	日常的な生活支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
	A⑧	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a	a	a	a	b	a
	A-2-(3)	生活環境	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
	A⑨	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a	a	a	a	a	a
	A-2-(4)	機能訓練・生活訓練	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
	A⑩	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a	b	a	a	非該当	非該当
	A-2-(5)	健康管理・医療的な支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
	A⑪	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a	a	a	a	b	a
	A⑫	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a	a	a	a	b	b
	A-2-(6)	社会参加、学習支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
A⑬	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a	a	a	b	a	b	
A-2-(7)	地域生活への移行と地域生活の支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう	
A⑭	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a	a	a	a	a	a	
A-2-(8)	家族等との連携・交流と家族支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう	
A⑮	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a	a	a	a	a	b	
A-3	A-3-(1)	発達支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
発達 支援	A⑯	① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a	非該当	非該当	a	非該当	非該当
A-4	A-4-(1)	就労支援	八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	サボセン	はくちょう
就労 支援	A⑰	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a	非該当	非該当	非該当	a	a
	A⑱	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a	非該当	非該当	非該当	a	a
	A⑲	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b	非該当	非該当	非該当	a	b
集計 結果			八甲学園	しらかば寮	さつき寮	あおば	さつき	はくちょう
	「a」評価の数		18	14	15	15	12	13
	「b」評価の数		1	1	0	1	5	4
	「c」評価の数		0	0	0	0	0	0
	非該当の数		0	4	4	3	2	2

**令和4年度 高齢者福祉サービス版自己評価シート 評価結果表**  
**【内容評価基準】**

**【自己評価の実施にあたって】**

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください（「a・b・c」）。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「欄」のドロップダウンから選択してください（「・」）。

A-1	A-1-(1) 生活支援の基本		安生園	すこやか苑
生活支援の基本と権利擁護	A①	① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	非該当	a
	A②	① 利用者の心身の状況に合わせて自立した生活が営めるよう支援している。	非該当	非該当
	A③	① 利用者の心身の状況に応じた生活支援（生活相談等）を行っている。	a	非該当
	A④	② 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a	a
	A-1-(2) 権利擁護		安生園	すこやか苑
A⑤	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a	a	
A-2	A-2-(1) 利用者の快適性への配慮		安生園	すこやか苑
環境の整備	A⑥	① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	b	a
A-3	A-3(1) 利用者の状況に応じた支援		安生園	すこやか苑
生活支援	A⑦	① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
	A⑧	② 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
	A⑨	③ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
	A-3(2) 食生活		安生園	すこやか苑
	A⑩	① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a	a
	A⑪	② 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a	a
	A⑫	③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a	a
	A-3(3) 褥瘡発生予防・ケア		安生園	すこやか苑
	A⑬	① 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a	a
	A-3(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		安生園	すこやか苑
	A⑭	① 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	非該当	b
	A-3(5) 機能訓練、介護予防		安生園	すこやか苑
	A⑮	① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a	a
	A-3(6) 認知症ケア		安生園	すこやか苑
	A⑯	① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	b	a
	A-3(7) 急変時の対応		安生園	すこやか苑
	A⑰	① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a	a
	A-3(8) 終末期の対応		安生園	すこやか苑
	A⑱	① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	b	a
	A-4	A-4-(1) 家族等との連携		安生園
家族との連携	A⑲	① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	a	a
A-5	A-5-(1) 安定的・継続的なサービス提供体制		安生園	すこやか苑
サービスの提供体制	A⑳	① 安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	b	非該当

集計結果		安生園	すこやか苑
	「a」評価の数	13	16
	「b」評価の数	4	1
	「c」評価の数	0	0
	非該当の数	3	3